

別紙様式 1

令和元年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立牟岐少年自然の家	施設所在地	海部郡牟岐町大字灘字東谷 1 1 6 - 3 5
指定管理者名	岡田企画株式会社	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設所管課	生涯学習課	【連絡先】	088-621-3147

1 施設の概要

設置年月日	昭和60年7月1日
設置目的	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、その健全な育成を図る。
施設内容	管理棟、宿泊棟、プレイホール、海の学習室、プール棟等
利用料金等	基本料金：無料(教育課程)、110円(その他)、 宿泊室：110円(教育課程)、440円(少年)、650円(その他)
開館日・休館日等	休所日：8月13～15日、12月29日～12月31日、1月1日～1月3日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	(1) 牟岐少年自然の家の設置及び管理に関する条例第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務 (2) 少年自然の家の施設等の維持管理に関する業務 (3) 少年自然の家の利用の許可に関する業務 (4) 少年自然の家の利用料金に関する業務 (5) その他少年自然の家の管理に関し、教育委員会が必要と認める業務
------------	---

3 施設の管理体制

	正職員 10名	臨時職員 16名(嘱託員2名含)	計 26名
管理体制	運営統括責任者 (正職員 1)	所 長 (正職員 1)	総務部 2 (正職員②)
			事業部 6 (正職員⑤ 臨時職員①)
			施設部 6 (正職員① 臨時職員③ 嘱託②)
			給食部 10 (臨時職員⑩)

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	元年度	1,829	2,665	3,861	4,435	4,392	2,418	3,982	1,245	1,094	1,598	695	57	28,271
	30年度	1,971	3,373	2,774	2,828	3,741	4,368	2,754	1,720	749	1,581	485	1,199	27,543
	前年度	1,541	2,158	4,933	3,638	3,066	4,355	3,294	1,183	545	1,009	949	714	27,385

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	元年度	492	223	206	473	1316	122	292	109	87	228	94	2	3,644
	30年度	481	192	152	409	998	288	230	81	25	207	54	135	3,252
	前年度	412	139	256	445	861	355	237	80	1	67	215	99	3,167

施設毎 利用料金収入 (千円)							計
	元年度						
	前年度						
	前々年度						

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		令和元年度	平成30年度	平成29年度(前々年度)
収 入	指定管理料	75000	73636	73636
	利用料金収入	3644	3252	3167
	事業収入	38417	34360	33406
	その他			
	計	117061	111248	110209
支 出	固定費(人件費含)	58471	57010	57964
	運営費	38362	34591	35750
	維持管理費	19352	19240	19178
	その他			
	計	116185	110841	112892
収支		876	407	-2683

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	①仕事のマルチ化、外部委託業務の仕様内容の見直しによるコストの削減 ②修繕履歴等の情報のシステム化による設備機器の故障時の迅速な対応・長寿命化 ③職員による施設設備の修繕・修理の実施 ④職員による敷地内の植栽管理業務の実施 ⑤省エネルギー・省資源の節約による光熱費の削減 (平成24年7月より使用電力監視システムを導入) ⑥コピー・印刷用紙の節約による事務費の削減 ⑦地産地消運動の推進による新鮮で低コストの食材の調達
サービス向上の取組	①年間を通した多彩な主催事業(土・日等の休日実施)の開催 ②1団体での同時多目活動の実施と活動時間の融通化 ③トレーニング機器を地元住民にも開放し、健康目的に合ったプログラムの開発と提供 ④生活習慣病予防改善講習など各種健康講座の開催 ⑤食堂にて健康メニューの提供、地産地消運動の推進 ⑥接客マナーの向上や活動の安全性を高める職員研修の実施 ⑦外国人利用者のための英語表記の標示物の整備 ⑧HPやLINE、Facebookによる情報提供、活動内容の報告、四季折々の風景等の掲載 ⑨防災学習プログラムの実施

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	○14の主催事業を延べ35日間実施した。 (事業名)海家族バンザイ!!、ファミリー釣り教室、ウクレレを作ってみよう、ボディボード体験、夏休み木工体験、めっちゃ夏遊び、親子ハッピーハロウィン、追跡!アサギマダラ、ときめき釣りロマン、もうすぐお正月、冬の自然で遊ぼう♪、親子で自然の家宿泊体験、海の世界学習、漁師さんに学ぶ海の「めぐみ」とその「食」【わんぱく冒険王、年度末イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】 ○親子が共に自然に親しむことによる子育て支援事業や漁協・渡船組合等の関係諸機関と連携した事業を実施し、自然の家が持つ機能を十分活用した主催事業が実施された。 ○毎年リピーターが増加している。その結果、主催事業の募集開始直後から予約が集中し、短期間で定員を超えた申込が多い。そのため、複数回数実施した主催事業もあった。 ○毎年プログラムの内容を工夫し、初めての参加者にもリピーターにも満足度の高い活動が実施されている。
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・毎回、利用者アンケートを実施し、ニーズの分析・把握に務めている。 ・要望のあった食事や入浴時間への融通について対応している。 ・職員が県内各地の関係諸機関を訪問し、利用の依頼を行っている。 ・新聞やチラシ、タウン誌など幅広く広報を行い、HPやSNS等も活用し、利用促進を図っている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・地域の特性を活かし、環境学習の講座や地元の漁師さんや釣り連盟の方から学ぶ講座を開設し、新規利用者の開拓及びりピーターの確保に努めている。 ・計画書に基づいて多彩な主催事業が展開できている。 ・今年度は、新型コロナ関係で後半の主催事業は中止としたが、希望の多い主催事業は、実施回数を増やすことにより、すべての希望者が参加できるようにしている。 ・週2回卓球教室を開催している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・年間作業計画に基づいた点検が的確に実施されている。 ・故障時の迅速な対応を行うことにより、機器の長寿命化に向け努力をしている。 ・老朽化のため使用不能となった備品に対し、購入や廃棄等を県と協議の上、迅速に行っている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・収支計画に合致した運営ができています。 ・バイクメール便の活用や物品購入に際して送料がかからないよう工夫し、通信費等のコスト削減に取り組んでいる。 ・使用電力監視システムやこまめな節水・節電対策等により、熱水費の削減に努めている。 ・職員で施設内の塗装やワックス掛けなどを行い、節約に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・管理運營業務計画書に基づく業務が厳格に行われている。 ・法で定める有資格者以外に、より質の高い業務遂行が可能な各種有資格者や免許所有者を有している。 ・経理については、現金は所長が直接チェックし、銀行振り込みは銀行の担当者とともにチェックしている。 ・きめ細かなセルフモニタリングが実施され、毎月、的確に報告されている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・事業計画書に示された労働条件を満たす勤務ができています。 ・地元出身者の雇用を優先的に行っている。 ・勤務シフト表、タイムカードで管理をしている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員採用は積極的に地元から雇用し、約9割が地元雇用である。 ・業務委託は最優先に地元企業に委託している。 ・トレーニングルームを地元住民に開放している。8月と2月は無料開放を行っている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	S	・第三者運営協議会を年2回開催し、地元の関係者から施設の運営に関して率直な意見をいただき、改善につなげている。 ・地元団体等と連携した自主事業の開催や清掃活動等のボランティア活動への参加を積極的に行っている。 ・地元中学校や地域の行事に講師を派遣する等積極的に連携を深めている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・安全性の確保や職員の資質向上を目指した研修、防火・防災等の避難訓練を計画的に実施している。 ・「避難所等施設利用に関する協定」を県教委、牟岐町、牟岐町自主防災連絡協議会、指定管理者の4者で締結している。 ・防災のまちづくり支援のため、「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」の認証を受けている職員を3名配置している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・自然環境に配慮した洗剤の使用や節水節電など環境への負荷を軽減する取り組みが行われている。 ・用紙の両面印刷による紙の廃棄物の減量や分別ボックスの設置による廃棄物のリサイクルの推進を行っている。 ・太陽パネルの設置や活動プログラムに環境学習を取り入れている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令の遵守意識が全職員に定着している。 ・情報公開規定を整備している。
総合評価	A	・民間企業の経営方針を活用することにより、コスト削減やサービス向上に積極的に取り組まれている。 ・豊かな知識と経験を有した職員を配置し、海の活動を通じた教育効果の高い事業が実施されており、利用者からも職員のサービス等についての評価も高い。 ・安全・危機管理体制も整っており、大規模災害時における避難所開設の対応もできている。

〈評価指標〉 S : 協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A : 概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B : 協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C : 管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

〈課題〉
・少子化による児童生徒数の減少や、学習指導要領の改定による授業時数の確保、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数減少や活動内容の簡素化が危惧される。
・開設から３０年が経ち、施設の老朽化が目立つようになってきている。そのため、計画的な施設の修繕が必要である。

〈対応〉
・教育課程以外での利用者の増加については、施設改修による利便性の向上や県内外へあらゆる方法を駆使してＰＲを行い、青少年をはじめとする自然体験活動での利用の他、スポーツ合宿やグローバル人材育成のための合宿、企業研修等、幅広い利用の促進を図る。
・地元（海部郡）との連携を一層強化し、利用者の拡大を図る。
・地域の自然や人材など特性を生かした新たな自然体験・環境学習プログラムを開発・実施することにより利用の拡大を図る。
・教育課程として授業時数にカウントできるような活動を盛り込んでいく。
・施設検査の結果を受け、県と指定管理者との協議により、計画的に施設の修繕や備品の更新を行っていく。